第2回米原市まち・ひと・しごと創生に関する有識者会議 会議録

会 議 名	第2回米原市まち・ひと・しごと創生に関する有識者会議
開 催 日 時	令和元年12月13日（金）13時30分～15時30分
開 催 場 所	米原市公民館2AB研修室（2階）
出席者および 欠席者	【出席者】金井座長、萩原副座長、古澤委員、村田委員、北村委員、田川委員、 大澤委員、川瀬委員、馬淵委員、宮崎委員、高木委員（11名） 【欠席者】中村委員（1名）
議 題	(1) 米原市人口ビジョンの改訂について (2) 第2期まち・ひと・しごと米原創生総合戦略について
結 論	(1) 米原市人口ビジョンの改訂について ・若者だけでなくシニア世代、高齢者、女性、障がい者など幅広く活躍できるまちづくりと技術革新や高付加価値化など産業の高度化が必要 ・地域ごとの分析の上、地域と情報を共有して地域とともに将来シナリオに描くことが大切 ・「まちの価値」を高める施策展開が必要で (2) 第2期まち・ひと・しごと米原創生総合戦略について ・地域資源を活かした横断的な情報発信のしくみと体制をつくり、戦略的な情報発信が必要 ・質の高い古民家を有効活用するため、窓口の周知やターゲットを絞った情報発信、貸し手のハードルを下げる取組、DMOでの活用が必要 ・地域の課題と資産の棚卸をした上で、課題解決に民間を活用し、ビジネス化することも有効であり、市内外の人材によるまちづくりの組織体を形成すべき。 ・俯瞰の視点と柔軟な発想を持ち、縦割りではなく横断的な施策展開が必要 ・今後、名古屋と大阪は今まで以上に吸引力を持つ。米原に住みながら名古屋・大阪に通えるセールスポイントを真剣に考えるべき。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	1 開会あいさつ (政策推進部次長) 2 協議事項 (1) 米原市人口ビジョンの改訂について ・若い労働人口を流入させたい思いはわかるが、どこも取り合い。若い世代だけでなく、75歳までどう働くかを念頭に米原がどういう受け皿になれるかを考えるべき。シニア層はこれまでの経験から教育訓練もされた人材も多い。 ・生産年齢人口＝(イコール)労働力ではないので、高齢者、女性、障がい者にも活躍してもらう方法や生産性を高める技術革新、高付加価値化など産業の高度化でのカバーも考えるべき。 ・経済のトレンドがダウンする中、価値化が重要になる。IT・IoT、働き方などを価値化することが必要ではないか。 ・外国人人材も高度人材、教育人材として生かすことも検討してはどうか。

- ・親は子どものためならば移住する。子どもにとっての「まちの価値」がポイントになる。例えば多言語の教育ができれば価値化になる。価値化を図る指標も必要ではないか。
- ・地域ごとに実態が変わるので分析が必要ではないか。また地元住民との共有や地域とともに将来シナリオを描くことが大切。
- ・エリアによって人口増減の特徴があれば突き詰めた方がよい。
- ・子育てしやすいとの声を聴くが、外向けにうまく伝えられていないのではないか。かみ砕いた情報提供が必要。

(2) 第2期まち・ひと・しごと米原創生総合戦略について

- ・横断的な情報発信のしくみと体制づくりが必要。戦略的な広報で全国に米原市の情報を発信し、丁寧に根気強く価値を高める。この機能をしっかり持つことで総合戦略の施策が光ってくる。
- ・湖北地方には上質な古民家が多い。住むこと自体がステータスになり得る。意識が高い人に訴求することも方法として検討してはどうか。
- ・空き家活用も情報発信が重要となる。また、貸し手の貸しやすさが成否を分ける。第三者的な公的機関をつくり、不動産業として扱うことでベンチャー化している自治体もある。
- ・空き家活用について、何となくでいいので、どの地域にどういう空き家活用をすべきか考えておく方がよい。サテライトオフィスを誘致して従業員の住みたい空き家がないようなことにならないように。
- ・空き家の利活用促進には、人づてに話が伝わる方が効果がある。
- ・DMOについて、DMO 単独でうまくいっているところは少ない。地域商社と観光商社が入っているところは比較的うまくいっている。空き家を活用した DMO も考えていくとよい。
- ・米原市の価値化を図る主体を創る必要があるのではないか。米原を試算・商品として売り込む企業体があっても良いのではないか。
- ・個人的な意見となるが米原駅周辺は商業施設よりも駐車場が多くなっており、発展しにくい状況にある。東口や市庁舎跡地に市営駐車場をつくってはどうか。また、柏原、醒ヶ井、近江長岡駅については、名古屋、大阪への通勤客を見据えて駅前に大きな駐車場を作ってはどうか。
- ・栃木では、JR と組んで新幹線通勤の補助を出している。期間限定で実施されているが、専門知識が高いなど、良い人材が来るというメリットもある。
- ・米原市と都市部は意外と近いし、環境もいい。利便性を体験してもらい、情報発信ができるとよい。
- ・全体の施策は日本全体どこでも行うものになっている。俯瞰した見方をして、ビジネス化していくダイナミズムな発想が必要だと思う。簡単ではないが、今がチャレンジするときだと思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・起業がうまくいっているのは60代が多い。起業支援は若者に限らないようにした方がいい。 ・市内を走る介護の送迎車に買い物支援を合わせるなど全体を見ながら横のつながりをつくれれば、暮らしが良くなることはたくさんある。補助金を出すよりも、システムを見直す視点が必要。 ・地域の課題と資産の棚卸をした上で、課題解決に民間を活用し、産業として起こしていくことが必要だと思う。市だけでなく金融機関などの事業計画やファイナンスの知識がある方、中小企業診断士など外部の方と組まないといけないところがあるので、外部スタッフと組んで判断していくことが必要。 ・どこに何があるかマッピングができる全体の情報発信を考えるセッションを作って、いろんな情報を吸い上げ、マッチングさせるとともに、市内と市外の情報発信をそれぞれ行う。そこから始めてはどうか。 ・既存ストックのマネジメントについて、施設を100%使わなければならないという条件設定は無理があると思う。一部の活用でも良いのではないかと。また、PFIなど民間の活用が大切。 ・2025年に大阪万博があり、それまでにはIRの決定もある。2027年にはリニアが名古屋に届く。名古屋と大阪は今まで以上に吸引力を持つ。米原に住みながら名古屋・大阪に通えるセールスポイントを真剣に考えなければならない。東京の吸引力は変わらないと思うが、東京オリンピックが終わると東京に余剰人材が出るかもしれない。そこに対する戦略も必要だと思う。
<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>■公開 傍聴者： <u>0人</u></p> <p>☐一部公開</p> <p>☐非公開</p> <p>一部公開または非公開とした理由</p> <p>()</p>
<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p>■開示</p> <p>☐一部開示（根拠法令等：)</p> <p>☐非開示（根拠法令等：)</p>
<p>全部記録の有無</p>	<p>会議の全部記録 ☐有 ☒無</p> <p>録音テープ記録 ☒有 ☐無</p>
<p>担当課</p>	<p>政策推進課（内線91-246）</p>